

事業活動

事業ごとに目指す方向性を策定するとともに、それを実現するための重点戦略を設定しています。それらの戦略に基づき、各事業を成長させることで、事業ポートフォリオの充実を図っていきます。



2025年日本国際博覧会 大屋根リング(大阪市此花区)

1 建築事業 P.48

3 海外建設事業 P.52

5 エンジニアリング事業 P.56

7 フロンティア事業 P.59

2 土木事業 P.50

4 投資開発事業(不動産開発事業) P.54

6 グリーンエネルギー開発事業 P.58

8 グループ経営 P.60

建築事業

事業活動を通じたSDGsへの貢献



写真：国土交通省 近畿地方整備局 提供

2025年日本国際博覧会(左：日本政府館(日本館) 右：飯田グループ×大阪公立大学共同出展館)(大阪市此花区)

ものづくりへの徹底したこだわりを通じて、お客様の期待を超える価値ある建築物を提供するとともに、建築事業の競争力を強化していきます。

建築事業では、不透明な市場環境の中においても、社会に確かな価値を提供し続けるために、技術・品質のさらなる追求と、多様化するお客様・社会の本質的なニーズの実現を通じた持続的成長を目指してまいります。その実現のために、有望なマーケットの見極めと対応力強化のほか、採算性を重視したプロジェクト受注、生産体制の再構築などに継続的に取り組めます。ICT・AIを活用し、グループ・サプライチェーン一体となって事業を推進していきます。



代表取締役副社長 副社長執行役員
建築総本部長
生産性向上推進担当
建築総本部 原子力・火力担当
スマートシティ推進担当
常盤橋プロジェクト 総支配人

堤 義人

重点戦略

建設事業における技術・品質の追求を目指した取り組みと、サステナブルな建設業の実現に注力

1 高収益な事業体質への変革を加速

- 取り組み方針の明確化による適正な受注量管理と採算性重視の受注判断
- ものづくりの基本となる品質・安全の確保、原価・工程管理の精度向上

2 ものづくりの魅力を追える生産体制の再構築

- デジタル技術の積極的な活用と戦略的な人財配置による現場力の向上
- グループ・サプライチェーン一体のプロジェクト遂行能力のさらなる向上
- ダイバーシティ・エグジティ&インクルージョンのさらなる醸成
- 4週8閉所+αの適正工期確保

3 有望なマーケットの見極めと対応力強化

- 積み上げてきた超大型プロジェクト対応力・技術の確実な展開
- 建物ライフサイクル事業のスケール化
- 伝統および最先端技術を活用した提案による受注拡大(環境、防災、木質建築、スマートシティ、原子力など)
- 地域経済に則した営業・受注戦略の構築

強み

- 顧客ニーズに応える信頼と満足の提供
- 真摯な姿勢と絶えざる革新志向を持つ人財力と技術の多様性を背景とした総合力
- 全国にわたる営業基盤と豊富な実績、高い提案力による受注競争力
- 超高層ビル、半導体、データセンターをはじめ、進化し続ける先進の技術力
- グループ内の連携と強固なサプライチェーンによるプロジェクト遂行能力

課題を踏まえた今後の展開

- 適正な事業量の管理および利益水準の確保
- より公平なリスク分担となる契約条件の実現
- 隙のない管理による確かな品質と安全の確保
- 技能労働者のさらなる処遇改善・育成による担い手確保
- 多様な働き方の実現と、優秀な人財確保、組織の機能連携強化

TOPICS

中京地区初のWELL認証最高評価を獲得

名古屋シミズ富国生命ビルは、2024年3月に竣工した地方都市型サステナブルオフィスです。せり出した外殻格子は互いに支え合うよう組み上げられ、接合部の構造上の工夫などにより、施工省力化を図っています。また、地方都市の将来ニーズを見据え、社会とともに変化する作り方・使われ方に対応しています。

10階と11階には当社名古屋支店社屋が所在し、中京地区で初めてWELL認証*の最高評価「プラチナ」を取得しました。空間効率や生産性の向上だけでなく、働く人の健康もサポートし、2フロアを結ぶ「吹抜ラウンジ」はコミュニケーション機会の創出に寄与しています。

当社はこれからも時代に合わせた建築を追求し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

*WELL認証：空間を人間の健康と幸福の観点から評価・認証する、国際的な制度



名古屋シミズ富国生命ビル(愛知県名古屋市) 正面外観(左) 吹抜ラウンジ(右)

世紀を超えて続くオフィスのRe-Novation

第一生命日比谷ファーストは、1938年清水組施工の第一生命館に端を発する歴史ある建物です。1995年に当社設計施工の増改築が行われ、そして今回2024年に再び当社設計施工でリノベーションが行われました。

今回のリノベーションで、「つながるWell-beingオフィス」というコンセプトのもと、テナントと共存する本社ビルへ進化しました。エントランスや基準階コアの移動、フロア構成の変更、既存素材の活用、自然の要素を取り入れたデザインの導入などにより、既存の意匠を活かしながら新たな体験価値を生む空間を創出しました。建物を通じた環境配慮や地域・社会貢献などにより、広い視野で世代をつないでいく場となることが期待されています。

今後も豊富にリニューアル工事の施工実績と技術を活かし、多様なニーズに対応できるよう、取り組んでいきます。



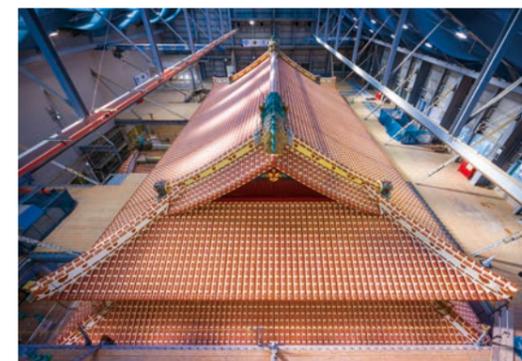
第一生命日比谷ファースト(東京都千代田区) 正面外観(左) ワークプレイス(右)

首里城の象徴、深みのある「琉球の赤」再現へ

当社JVが復元整備工事を進めている首里城正殿において、久志間切弁柄を顔料とする塗料を正殿外部に上塗り(仕上げ塗り)する工事が本格化しています。

上塗りでは、耐熱・耐水性に優れた弁柄を、湿気や漏水を防ぐ桐油で溶いた塗料を用いることで、高温多湿で日射が強い沖縄の気候から正殿を守ります。平成の復元時には特定できなかった往時の顔料を特定、各種検討や試験を実施し、深みのある「琉球の赤」の復元を目指しています。また、塗装工の3割を20代の若手が占めており、伝統技術の習得に努めています。

引き続き、原点ともいべき伝統建築技術を次世代に着実に継承していくとともに、培ってきたノウハウを活かし、文化遺産の保存・修理・復元に寄与していきます。



首里城正殿復元整備工事(沖縄県那覇市) 仕上げ塗り



デジタル技術で大本山永平寺の重要文化財群を大解剖！
～精緻な点群測量により社寺建築のデジタルツインを構築～
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024004.html>



中央区京橋で木造ハイブリッド構造のオフィスビルが近く上棟
～中高層建築の木質化技術「シミズ ハイウッド」シリーズの新技術を活用～
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024045.html>

土木事業

事業活動を通じたSDGsへの貢献



新水俣駅構内古城第2B・新設他3 (熊本県水俣市) 九州新幹線をまたぐ、手延べ式送出し工法による架設工事

道路、鉄道、上下水道などの社会インフラの整備を通じて、人々の豊かで安全・安心な暮らしの実現に貢献していきます。

防災・減災、国土強靱化への社会からの要請に応えるとともに、インフラの老朽化対策、カーボンニュートラルへの取り組みといった土木事業を取り巻くダイナミックな環境変化に的確に対応していきます。確実な品質管理、安全管理体制のもと、安定した収益基盤を構築して、社会インフラの整備を行います。新技術の開発・実装や、新分野への事業領域拡大を通じて、社会やお客様が求める建設ニーズへの対応、課題解決に努めていきます。



代表取締役副社長 副社長執行役員
土木総本部長
安全環境担当

池田 謙太郎

重点戦略

土木事業における技術・品質の追求、収益力向上を目指した取り組みと、サステナブルな建設業の実現

1 安定した収益基盤の構築

- 営業・設計・施工の組織力の強化
- 採算性を重視した営業活動と受注前審査の厳格化による受注判断
- 品質と安全の管理徹底、原価管理・工程管理の精度向上

2 ものづくりの魅力を追求できる生産体制の構築

- 土木技術者の増強と計画的な人材育成による確実な生産体制の整備
- 特定工種・分野別ごとの戦略的な人材配置による現場力の向上
- ICT・AIを活用した技術開発の推進と早期現場実装・定着
- グループ会社・サプライチェーン一体のプロジェクト遂行能力向上
- 4週8閉所+αの適正工期確保と ICT・AIの活用による業務の効率化

3 収益力向上を目指した有望なマーケットへの対応力強化

- 質の高いインフラ建設による国土強靱化への貢献
- インフラ更新マーケットでの開発技術の展開と受注拡大
- 再生可能エネルギー関連施設の技術競争力向上

強み

- 大型・高難度プロジェクトにおける豊富な施工実績の蓄積
- 高度な施工技術と確実な生産体制による高い品質の実現
- ICTを活用した効率的な施工・管理による高い生産性
- 風力・水力発電など再生可能エネルギー分野への貢献
- 高速道路の大規模更新におけるグループ会社との連携

課題を踏まえた今後の展開

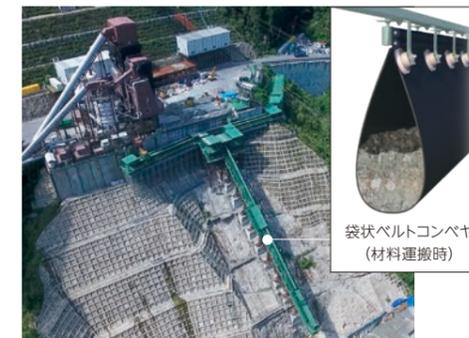
- 大型・高難度プロジェクトの継続的な受注による収益基盤の確保
- 優秀な人材の確保と育成による確実な生産体制の維持・構築
- ICT・AIのさらなる活用と省力化・自動化技術の開発・実装
- 洋上風力分野における技術力の蓄積と受注の拡大
- グループ会社との連携強化によるシナジー効果の発揮

TOPICS

SCプレミアムベルコン 足羽川ダム本体建設工事で本格稼働中

ダム建設工事の生産性向上に寄与するダムコンクリート運搬設備「SCプレミアムベルコン」の現場実装を進めています。SCプレミアムベルコンは、密閉・吊下げ構造のベルトコンベヤ設備で、搬送物を袋状に丸めた搬送ベルトの中に包み込んで運搬します。これにより、バッチャープラント（コンクリート製造設備）で製造したコンクリートを堤体の打設場所まで、材料分離を防ぎつつ効率的に運搬できます。運搬能力は、45度の急勾配に設置した場合で1時間当たり最大280m³と、従来の固定式ケーブルクレーンと比べて2.8倍の能力を有しています。現在、足羽川ダム本体建設工事に導入し、現場状況に合わせて運用しています。

安全に留意しながら早期のダム完成を目指し、地域の防災・減災、国土強靱化に貢献していきます。



SCプレミアムベルコンの設置状況 (福井県今立郡池田町)

袋状ベルトコンベヤ (材料運搬時)

日本橋の青空復活に向けて 首都高出入口の橋脚撤去工事が竣工

日本橋川上空に架かる首都高速都心環状線は、開通から60年以上が経過し、過酷な使用状況により多数の損傷が発生しています。そのため、国家戦略特区の都市再生プロジェクトに位置付けられた周辺の再開発計画と連携して、江戸橋JCT～神田橋JCTの地下化事業が始まりました。当社では、将来の地下トンネルに干渉する橋脚基礎の撤去・受替えを目的とし、呉服橋と江戸橋の出入口撤去を行いました。

施工箇所は開通している高速道路に近接し、直下には日本橋川を往來する船舶や日本橋などがある厳しい条件の中、新技術の床版フルカット工法^{*}の試行や、台船を活用した鋼製の橋桁の大ブロック一括での吊下げ降下撤去などの工夫により、無事工事を完了しました。

今後も、安全安心なインフラ更新の推進に貢献していきます。

^{*} 橋梁のコンクリート床版を水平切断し、撤去工程を効率化する工法



台船を活用した鋼製の橋桁の吊下げ降下撤去 (東京都中央区)



橋桁・橋脚撤去完了状況

山岳トンネル掘削技術の発展に貢献 滝室坂トンネルが竣工

滝室坂トンネルは中九州横断道路国道57号滝室坂道路の一部を形成しています。当社では、本トンネルのうち、西側(坂梨工区)の本坑(延長2,679m)と避難坑(延長3,069m)の施工を担当しました。2018年に着工し、トンネル掘削では「シミズ・スマート・トンネル」を構成する「AIサイクル自動判定システム」と「重機接触災害リスク低減システム」を導入し、施工の合理化を図りました。前者は施工管理の効率化を、後者は人と機械の協調安全を実現し、向殿安全賞を受賞しました。覆工の施工では、国内最大級のプレキャスト覆工コンクリートを使用することで、工程面と安全面の課題を克服し、本工事は竣工しました。

今後も、山岳トンネル掘削技術の発展に貢献していきます。



国内最大級のプレキャスト覆工 (中間ポンプ室) (熊本県阿蘇市)



ニュースリリース
密閉・吊下げ構造のベルトコンベヤ「SCプレミアムベルコン」をダム現場に実装
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024047.html>



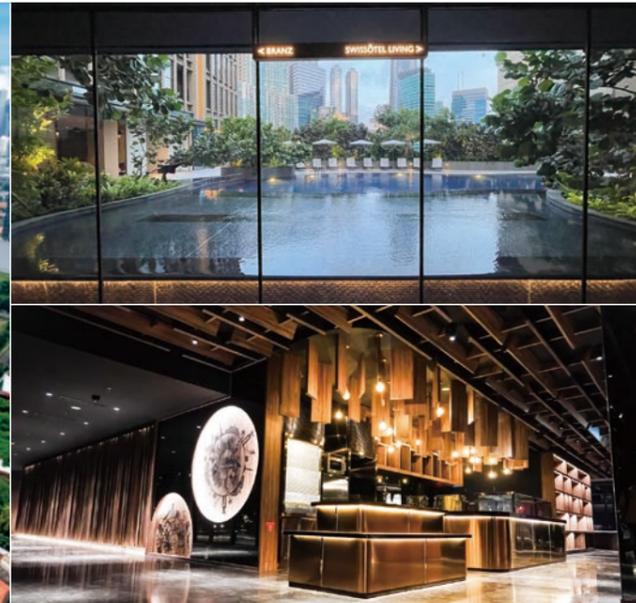
事業トピックス
新エネルギーへの夢 大型陸上風車の未来を切り開く
<https://www.shimz.co.jp/topics/civil/item05/>



事業トピックス
Renovashiで未来を架ける 橋梁リニューアル工事への取り組み
<https://www.shimz.co.jp/topics/civil/item06/index.html>

海外建設事業

事業活動を通じたSDGsへの貢献



左、右上：フランス メガクニンガンおよびスイスホテルリビング ジャカルタ メガクニンガン（インドネシア） 右下：スイスホテルリビング ジャカルタ メガクニンガン ロビー（インドネシア）

各国経営基盤の強化と事業領域の拡大を通じ、より現地に根差したソリューションを、より多様なお客様に、より迅速にお届けします。

これまで世界66カ国で、数々の建設プロジェクトに携わってきました。現在のメインフィールドは、アジア、北米、そしてアフリカ。各国で今、事業プラットフォームの刷新に取り組んでいます。現地法人の経営の自立性を高めるとともに、当社直轄の拠点にはカンパニー制を導入。お客様のニーズに現地で迅速にお応えできる体制へと進化を図っています。事業領域の拡大と収益力の強化を目的に、アライアンスやM&Aも加速させています。2024年度はアジアと北米、2社の建設会社をグループに迎え入れました。これからも価値あるサービスを各国社会やお客様にお届けするため、シミズグループは歩みを続けます。



専務執行役員
グローバル事業本部長

藤田 仁

重点戦略

事業プラットフォームの進化と、各国・地域に根差した持続的・安定的な事業展開

1 拠点経営の自立化を軸とした事業プラットフォームの進化

- 各国拠点の体制に応じた権限委譲
- 地域・事業・組織の特性に基づく適切なガバナンス
- 自立した拠点を支える本部機能の革新

2 各国・地域に根差した持続的・安定的な事業展開

- リスクおよび収益性を見究めた、現地ニーズに基づく事業活動
- 社内外との連携強化による、ODAプロジェクトの取り組み深化
- 外部成長の加速と海外子会社経営の持続性・成長性の確保

3 グループの総合力を活かした収益源の多様化

- CM・コンサルティングなどのフィービジネスの拡大
- プロセスEPC、再生可能エネルギー、環境浄化など事業とのシナジーの追求
- 不動産投資開発事業との連携強化

強み

- 各国で築いてきた実績と信頼
- 技術力、設計施工ノウハウなどを活かした多様な提案力
- 各国・地域での事業を支える豊富なグローバル人財
- WELL認証やZEBへの積極的な取り組み

課題を踏まえた今後の展開

- 成長性の高いセクター・マーケットへの経営資源の集中
- 各国拠点による機動的な顧客対応
- 組織力を活かした深みのあるソリューション提案
- 施工品質の確保・改善

TOPICS

世界のトレンドを捉え、お客様のニーズに応える(建築)

アジアと北米を中心に、多くの建築プロジェクトに取り組んでいます。その工種は、オフィスビルや生産・物流施設に加え、世界的に需要が高まっているデータセンターや半導体関連施設、優れた建築性能が求められる医療・研究施設など、多岐にわたります。これまでの実績と信頼とともに、日系のお客様の設備投資を変わずお支えするとともに、現地企業や多国籍企業のお客様へのサービスも意識的に拡大。ローカルパートナーとも連携しながら、あらゆるお客様のニーズに応えています。組織体制の面では、ガバナンス強化と拠点経営の自立化を並行して進めています。シミズの総合力を活かしながら現地に根差したソリューションを迅速に提供する企業集団へと、さらなる進化を図ります。



ダイキンベトナム本社ビル・Daikin Air Tower (ベトナム)

アジアやアフリカのインフラ整備に貢献(土木)

私たちの生活や経済活動を支えるインフラ。当社はアジアやアフリカで、多くのプロジェクトを手掛けてきました。2024年には、ベトナム初の地下鉄「ホーチミン都市鉄道1号線」が開業。現在はフィリピン初の地下鉄や、インドネシア・ジャカルタMRT*南北線の延伸に取り組んでいます。ネパールには30年ぶりに再進出。南東部で水道給水施設の新設・更新を行っています。アフリカでは、ケニア・ナイロビを拠点に、西アフリカや東アフリカでインフラ建設に従事しています。2025年にはタンザニアに初進出。西部タンガニーカ湖畔の港湾整備プロジェクトを受注しました。これからもインフラ整備を通じて各国に貢献するとともに、日本の技術・知見の展開や地元人財の雇用・育成にも取り組んでいきます。



マニラ地下鉄CP101 (フィリピン)

* Mass Rapid Transit：都市高速鉄道

アジアと米国における事業領域拡大

当社は成長戦略の一環として、北米、東南アジアを中心に、アライアンスやM&Aによる収益力強化、事業領域の拡大を進めています。2024年11月にはシンガポールの高級内装工事会社Grandwork Interior社を、2025年2月には米国の改修・内装工事会社Cross Management社をシミズグループに迎えました。両社の子会社化により、お客様に提供できるサービスを拡充し、多様なニーズへの対応力を強化しました。今後も各国において、建設関連分野における総合的なソリューションを提供できるよう、パートナーとの連携を進めます。



Cross Management社との協業で竣工した、源 吉兆庵 ニューヨーク5番街ビル(米国)



ニュースリリース
米国の改修・内装工事会社「Cross Management社」をグループ会社化
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2025/2024066.html>



ニュースリリース
タンザニア西端の交易拠点「キゴマ港」の改修プロジェクトを受注
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2025/2024062.html>



ニュースリリース
シンガポール内装工事会社「Grandwork Interior Pte Ltd」を子会社化
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024048.html>

投資開発事業 (不動産開発事業)

事業活動を通じたSDGsへの貢献



S・LOGI松原 (大阪府松原市) 外観イメージパース



名古屋シミズ富国生命ビル (愛知県名古屋市)

変化する経営環境に柔軟に対応すべく、シミズグループの技術と総合力の活用により、最適なポートフォリオの構築を目指し、賃貸と売却を両輪とした安定的な収益を生み出す不動産開発事業を展開します。

不動産バリューチェーンの構築とグループ連携によるストックビジネス拡充を目指し、清水建設不動産投資顧問株式会社において私募リートや私募ファンドの運用業務を展開しており、その資産規模は順調に推移しています。

サステナビリティ経営の視点で捉えた事業企画を進めるとともに、事業領域の拡大と収益力の強化を視野に、新たな成長分野への挑戦と事業推進体制の変革に取り組んでいきます。



執行役員
投資開発本部長

四元 浩成

重点戦略

シミズグループの技術と総合力の活用により、最適なポートフォリオの構築を目指し、安定的な収益を生み出す不動産開発事業を推進

国内

- 新たな成長分野への挑戦による事業領域拡大と取り組みアセットの多様化
- 既存ビルのバリューアップ事業の推進
- アイマーク、S・LOGI、VIEQUなどの不動産ブランド価値の向上
- グループ内連携による不動産バリューチェーンの拡大
- 新たな資金調達手法による新規ビジネスモデルの組成
- アライアンスとM&Aによる機能強化、展開地域拡大
- 社会的責任と事業機会を両立したサステナビリティ経営の推進

海外

- 新たに制定した投資戦略とビジネスモデルに基づく案件組成 [アジア・北米]
- 事業パートナー企業との連携強化による新規開発案件への投資実行
- 不動産投資ポートフォリオの見直し・拡充による注力エリアでのプレゼンス向上と収益力強化

強み

- 220年を超える歴史の中で構築された国内外の広範な営業ネットワーク
- ゼネコンの総合力 (建築・土木・エンジニアリング・グループ企業など)
- DX、スマートシティ、環境、BCP分野における当社の最新技術
- 不動産ストックビジネスの拡充に寄与する投資顧問会社の保有

課題を踏まえた今後の展開

- 幅広い顧客層からの営業情報のマッチングによる新規案件創出
- グループ内連携による多様な規模・グレード物件への取り組み
- 海外における現地化に向けた事業パートナーとのさらなる連携
- 環境技術やノウハウを活かした、サステナビリティ経営の視点からの事業展開
- 私募リートなどを活用した外部資金活用と不動産循環型ビジネスの推進

TOPICS

自社開発物流施設「S・LOGI松原」の建設工事に着手

大阪府松原市内で自社開発物流施設「S・LOGI (エスロジ) 松原」が2024年11月に着工しました。1フロア約7,000坪のプレートを確保した4階建てのマルチテナント型物流施設で、大型車両が直接各フロアへアクセスできるダブルランプウェイを採用しています。無人コンビニやカフェテリアスペースなど共用部のアメニティ設備も充実させ、就業者に動きやすい環境を提供します。環境面では、ZEBの最高ランクである「ZEB」認証を取得。また、使用電力の全量を再生可能エネルギー由来のグリーン電力で賄う計画で、当社グリーンエネルギー事業本部が設置する太陽光パネルが生み出す電力全量のほか、電力小売事業を手掛ける当社100%子会社「スマートエコエナジー株式会社 (SEE.社)」が供給する太陽光、バイオマスなどの自然エネルギー由来のグリーン電力を施設内で利用予定です。



S・LOGI松原 (大阪府松原市) 建設現場
※ 記載の情報は掲載時点のものであり、計画が変更になる場合がございます。
今後の予定
竣工：2026年5月

「ザ ロイヤルパークホテル 舞浜リゾート 東京ベイ」2026年開業

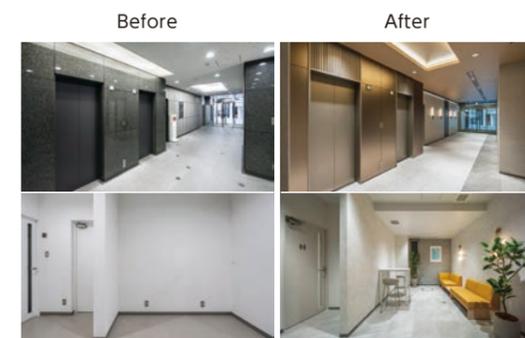
三菱地所株式会社が設立した特定目的会社との共同事業である「(仮称)舞浜ホテル計画」について、三菱地所ホテルズ&リゾート株式会社が運営するホテルの名称が「ザ ロイヤルパークホテル 舞浜リゾート 東京ベイ」に決定しました。開業は2026年2月を予定しております。本ホテルはJR舞浜駅より車で約5分、大型テーマパークの徒歩圏内に位置する、エリア最大級の750室を誇る大型ホテルとなります。ファミリーやグループの利用シーンに合わせ、4名部屋を基本とした最大6名までの客室構成とし、館内は旅の高揚感を演出しながらも機能的かつ環境に配慮した設計となっています。設計・施工・投資開発が一体で取り組むことで、不動産の開発・運営による収益確保だけでなく、環境配慮 (ZEB Oriented取得) や、エリアの観光産業への貢献を目指すとともに、ホテルの開発・運営などに関わる各社とのリレーション強化も期待されます。



ザ ロイヤルパークホテル 舞浜リゾート 東京ベイ (千葉県浦安市)
左図：外観イメージパース
右図：ロビーイメージパース
※ 記載の情報は掲載時点のものであり、計画が変更になる場合がございます。
今後の予定
竣工：2025年10月
開業：2026年2月

取得物件におけるバリューアップ戦略の推進

2024年4月に取得したプライム水道橋ビルにおいて、1階共用部のバリューアップ工事を実施しました。「単なる通過動線を明るく多様な居場所のある気持ちの良い空間へ」をコンセプトに、空間デザインを一新。さらに、テナント様向けのラウンジ設置と出入口の自動ドア化、水回りの更新を行っています。エントランスが明るく開放感のある雰囲気になったことに加えて、日々の利便性・快適性も高まったことで、テナント様からもご好評をいただいています。今後とも、新規の開発のみならず、既存ビルを活かし持続可能性を向上させるバリューアップ事業にも、積極的に取り組んでいきます。



プライム水道橋ビル (東京都千代田区) 内装 | 竣工：2025年2月



ニュースリリース
大阪府松原市で自社開発物流施設「S・LOGI松原」の建設工事に着手
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024052.html>



ニュースリリース
名古屋シミズ富国生命ビルが竣工・開業
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024014.html>

エンジニアリング事業

事業活動を通じたSDGsへの貢献



阿武隈風力発電所の風車建設(福島県田村市、大熊町、浪江町、葛尾村の4市町村にまたがる稜線部)

再生可能エネルギー施設によるGX、建物・まちのスマート化によるDXを通じて、脱炭素社会と安全・安心・健康な生活環境の実現をエンジニアリングで支えます。

「エネルギー」「環境浄化」「プラント」「情報」の基幹4分野において、発展領域への挑戦による収益の拡大と、成長軌道の維持・強化による収益安定化を目指します。さらに従来の枠組みにとらわれず、部門のポテンシャルを活かした新規事業開拓に挑み、社会・お客様の期待を超える価値の創出に取り組んでいきます。



執行役員
エンジニアリング事業本部長

清水 優

重点戦略

再生可能エネルギー、環境浄化、先端・戦略製品のプラントおよびDXソリューションに重点注力し、事業規模の拡大を実現

1 事業規模拡大に向けた成長市場の的確な把握と戦略的取り組み

- 競争激化する国内外風力発電プロジェクトの確実な受注
- プロジェクトの上流段階より顧客とエンジニアリングを展開し、顧客要求を上回る価値を提供して受注拡大

2 適正な事業量とポートフォリオを意識した事業活動による収益安定化

- 異業種、ベンチャー企業など外部連携による消化体制強化
- 雇用状況の変化や予想を超える物価上昇などの社会情勢に影響されない人材確保

3 成長軌道の維持と発展領域への推進

- エネルギー、環境浄化、プラント、DXなど、分野ごとの優位性を活かした戦略的な事業展開
- プロセスEPC事業の強化、SEP備船事業拡大、PFAS浄化技術の事業化などグローバル事業推進

強み

- 自航式SEP船による国内施工実績と備船事業での大型風車施工の経験
- 医薬品・食品・化学品・半導体などの大型自動化工場ターンキー受注
- 地下水・土壌における新たな物質の環境汚染に対する浄化技術開発
- 施設用途・お客様ニーズに応えるDXソリューション事業

課題を踏まえた今後の展開

- 自航式SEP船の最適稼働による洋上風力のEPC展開
- デジタルツインを活用したプラントエンジニアリングの推進
- 国内外でのPFAS汚染浄化事業の取り組み
- 建物OS (DX-Core)を活用したデータビジネスの展開

TOPICS

プラント分野

高度化・多様化する食品工場の取り組み

食品・医薬・半導体関連など工場の生産設備と建物を一体で捉えたターンキーでのエンジニアリングをご提供しています。食品微生物製造工場においてお客様と共働でFSSC22000に対応した高度な品質管理を可能とする生産設備を構築しました。「Growing Factory*」を継続的に活用して施設価値の最適化を図るご提案をします。

*デジタルツインを活用した生産施設の最適化システム



池田糖化工業 箕島工場 培養設備(広島県福山市)

エネルギー分野

SEP船BLUE WINDの備船事業で収益拡大

洋上風力では、国内8MW風車施工に続き、大型風車施工が先行する台湾において、2つのプロジェクトに対しBLUE WINDを備船。大型風車施工の技術を磨きました。

陸上風力では、福島県で国内最大規模となる3.2MW風車×46基を擁する阿武隈風力発電所と、3.2MW風車×5基を据え付けた葛尾風力発電所が竣工しました。



雲林沖洋上風力発電所建設工事(備船)のバブルカーテン(台湾)
画像提供:OWF Yunlin

情報分野

顧客ニーズに応える施設用途別の取り組み

収容人員数1万人以上の大型アリーナの映像音響設備を構築。スポーツ興行やコンサートなどイベント内容に合わせた多彩な演出を可能としました。

DXでは医療施設向け「eyeMIRU」による外来診療業務の効率化検証が完了し、外販営業を開始。引き続き、生産施設・教育施設向けのDXソリューションも開発しています。



LaLa arena TOKYO-BAY センタービジョン(千葉県船橋市)

環境浄化分野

PFAS汚染土壌の浄化試験を国内外で実施

PFASで汚染された地下水・土壌に対し、独自の洗浄技術の有効性を検証するため、国内外で実汚染地下水・土壌に対し浄化実証を実施。また、汽水・海水環境下で土壌・地下水を浄化できる新たな細菌を発見し、単離に成功するなど技術開発を推進。地球環境に配慮した浄化技術開発、実案件への適用に積極的に取り組んでいます。



フローテーション装置(イメージ)



ニュースリリース
医療施設DXシステム「eye MIRU」で外来診療業務を効率化
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024032.html>



ニュースリリース
汽水・海水環境下で土壌・地下水を浄化できるデハロゲンモナス菌の単離に成功
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024018.html>



ニュースリリース
新虎安田ビルにてスマートビル運営・地域連携DX実証実験を開始
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024020.html>



ニュースリリース
米国内でPFAS汚染土壌の浄化試験に成功
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2024/2024019.html>

グリーンエネルギー開発事業

事業活動を通じたSDGsへの貢献



山梨大月太陽光発電所(山梨県大月市)

フロンティア事業

事業活動を通じたSDGsへの貢献



人工衛星打上用小型ロケット「カイロケット2号機」



GREEN FLOAT II

グリーンエネルギーの提供により、脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現に貢献します。

フロンティア領域における成長投資の継続とビジネスモデルの確立により、地球・人類の持続的な発展に貢献します。

再生可能エネルギー発電事業

再生可能エネルギー発電(太陽光、バイオマス、小水力、風力)や蓄電池事業に取り組んでいます。山梨県大月市で自社敷地において、非FIT太陽光発電所を運営し、お客様にCO₂フリーの電力を供給しています。

水素活用による臨海副都心の脱炭素化に向けた取り組みに参画。(国研)産業技術総合研究所と共同開発した水素吸蔵合金タンクを用いた地域熱供給への水素混焼ボイラーの実装を進めるなどカーボンニュートラルな社会の実現に向けて貢献していきます。



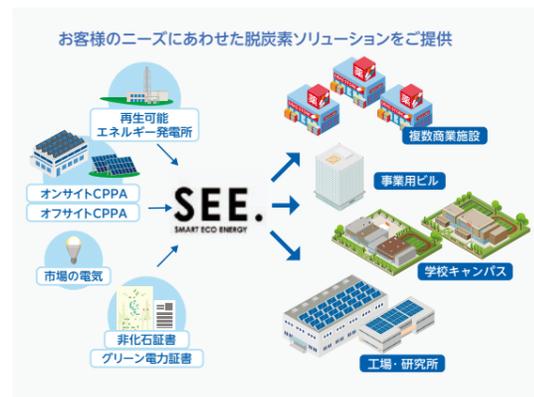
Hydro Q-BIC水素吸蔵合金タンク(東京都 東京臨海熱供給(株) 青海南プラント内)



わたしたちが地球に貢献できること
<https://www.shimz.co.jp/lcv/renewable-energy/>

グリーン電力ソリューションの提供

SEE.社では、太陽光やバイオマスなど非FIT再生可能エネルギー発電所により発電した「グリーン電力」および非FIT環境価値の「グリーン電力証書」などを提供し、地域環境に配慮したサステナブルな脱炭素社会の実現に貢献します。また、事業用ビル、学校キャンパス、工場・研究所や複数店舗に跨る商業施設など、お客様の多様なニーズに合わせた脱炭素ソリューションを提供し、環境経営の支援を行います。



SEE.社の多様な脱炭素ソリューション



SEE. スマートエコエナジー株式会社
<https://www.smarteco.co.jp/>

宇宙開発：衛星データ活用ビジネスのさらなる推進

ロケット打上関連事業や月土壌シミュラント販売事業に加え、独自の衛星測位解析技術により建造物の変位を低コスト・高精度で自動計測するサービスを展開し、建設・インフラ管理分野などでの活用を推進しています。また、出資先の株式会社Synspectiveおよび株式会社アークエッジ・スペースの衛星関連技術と当社のデータ解析技術を融合したサービス開発を通じて、より安全でレジリエントな社会の実現に貢献していきます。



衛星データ測位解析のイメージ



QuartetS
<https://www.shimz.co.jp/quartet/>

海洋開発：GREEN FLOATの実現に向けた活動

地球温暖化による海面上昇や都市への人口集中に伴う土地不足といった世界的な社会課題の解決に向け、安全かつ快適で、環境負荷の少ない「海に浮かぶFloat City」を提案しています。その実現を目指し、小型浮体による実証実験などを通じて技術開発・市場創出に取り組むとともに、「海を活かすGreen City」という視点で、海洋都市開発のパイオニアとして地球・人類の持続的な発展に貢献していきます。



実証実験施設(マリンフォレスト)



事業トピックス
 オランダ浮体都市研究[Floating Future]へのアジアから唯一の参画
<https://www.shimz.co.jp/topics/frontier/item02/>

グループ経営



しなやかさとスピード感を兼ね備えたグループ経営体制の構築を目指しています。

当社グループは、海外を含む子会社129社と関連会社29社で構成され、建設事業、開発事業、エンジニアリング事業、グリーンエネルギー開発事業など、多岐にわたる事業を展開しています。

資本提携やM&Aの可能性を視野に入れつつ、グループ間のシナジー効果の最大化や人材の柔軟な活用を推進します。また、円滑なコミュニケーションを基盤にグループ全体の一体感を醸成しながら、協働と相互連携を強化することで、持続的な成長と業績向上を実現していきます。



副社長執行役員
グループ会社担当
羽田 宇男

重点戦略

グループシナジー最大化による持続的成長と新たな事業領域創出に向けたグループ経営の推進

1 グループ各社における成長戦略促進による競争力/収益力の強化

- 自立経営とグループシナジーの最適化による連結収益力の向上
- 人材リソースの拡充などによる新たな事業展開の推進
- 競争力/収益力の原点である各社提供サービスにおける品質の確実な確保

2 各事業セグメントの着実な事業展開に向けた経営基盤の強化

- 人材リソースや技術/事業ノウハウの獲得、収益基盤の多様化・取り組み分野拡充に向けたM&Aの推進
- グループソリューション力の向上に向けたグループ内連携/情報共有の深化

3 生産性向上に向けたデジタル化の推進、人材の確保と育成に向けた人材マネジメント力の強化

4 グループ会社におけるサステナビリティ経営の強化と「論語と算盤」「進取の精神」を併せ持った企業風土への改革



シミズグループ
<https://www.shimizu.co.jp/company/about/group/>

TOPICS

日本道路株式会社

タイ国で高速周回路工事を受注

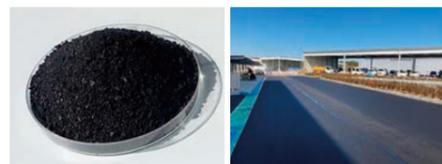
日本道路のタイ現地法人であるタイ日本道路は、タイ国工業省規格局から自動車・タイヤ試験・研究・イノベーションセンター (ATTRIC) の高速周回路の工事を受注しました。今回建設する高速周回路*は、約3kmの斜面舗装を含む全長約4kmの大型周回路で、タイ国で初めて本格的なバンクを持つ自動車テストコースになります。ATTRICはASEAN域内の自動車製品認証用の施設であり、タイ日本道路は2018年から同施設テストコースにおいて用途に応じた各種道路 (自動車の騒音試験用路面、4面の特殊路、連絡橋など) を建設しています。これまでタイ国で培ってきた35年にわたる豊富な実績と、日本道路が持つ高度な技術力を発揮し、今後も同国のインフラ整備に貢献していきます。

* 自動車の高速耐久性や安全性などを評価するための特殊な路面



タイ国で初めて本格的なバンクを持つ全長4kmのテストコース

環境配慮型アスファルト合材「バイオ炭アスコン」を製品化



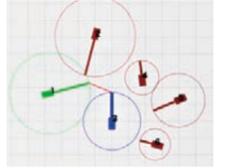
アスファルトと混合するバイオ炭 (左)
バイオ炭アスコン施工事例 [日本道路土浦テクノBASE (茨城県土浦市)] (右)

CO₂固定効果のあるバイオ炭を用いた道路舗装材「バイオ炭アスコン」を開発・製品化しました。「バイオ炭アスコン」は日本道路が有するアスファルト合材の製造技術と清水建設がコンクリート分野で培った建材へのバイオ炭の混合ノウハウを融合したもので、アスファルト合材の混合材料のうち、砂および石粉の代替材料として森林資源由来のバイオ炭を利用するアスファルト合材です。これにより製造過程で生じるCO₂排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル、さらにはバイオ炭の添加量に応じてCO₂の固定量が排出量を上回るカーボンネガティブを実現することが可能となります。

株式会社エスシー・マシーナリ

「クレーンアシスト」を実用化

エスシー・マシーナリは、GNSS (衛星測位システム) を活用したクレーン衝突危険警報システム「クレーンアシスト」を開発し、清水建設の複数の工事現場で運用を開始しました。クレーンアシストは高精度な3次元座標データを用いてクレーンのブームの位置と向きをリアルタイムに検出し、衝突の危険性をオペレーターに警告します。これにより複数のクレーンが同時稼働する工事現場でのクレーン衝突事故の危険性を低減させることが可能となります。



クローラクレーン6台稼働時の表示画面 (上空からクレーン全体を俯瞰しているように表示可能)



新型工事用エレベータ SEC-5000RS

大型工事用エレベータ「SEC-5000RS」を開発

国内最大級となる積載荷重5.0tの工事用エレベータ「SEC-5000RS」をエスシー・マシーナリ、清水建設、三成研機の3社で共同開発しました。エレベータの搬器床面積を一般的に3.0tエレベータの1.6倍に拡大し、積載荷重に応じた速度可変機能を搭載することで、国内最高の垂直搬送性能を実現しました。加えて、駆動装置とエレベータの搬器を分離することで、騒音・振動を抑え、使用者の乗り心地を改善しています。今後、国内最高層となるTorch Tower 新築工事への導入が決まっています。

日本ファブテック株式会社

The constructsteel Awards2024 Innovation of the yearを受賞

世界鉄鋼協会傘下のconstructsteelが主催するThe constructsteel Awards 2024において、日本ファブテックが施工した大槌橋西高架橋工事が、技術分野における最も優れた業績を表彰する「Innovation of the Year」を受賞しました。施工に際して、渋滞への影響を最小限に抑えるため、多軸式特殊台車を用いた上下部工一体 (桁の一部と両橋脚を剛結して一体化) の一括架設を採用し、作業性の向上と作業時間の短縮 (一夜間での設置) を実現したことが受賞につながりました。



大槌橋西高架橋 (国土交通省中国地方整備局発注) P1-P2間多軸台車一括架設状況

丸彦渡辺建設株式会社

モエレ沼公園の硬式野球場を施工

札幌市民の憩いの場であるモエレ沼公園は、市街地を公園や緑地の帯で包み込む「環状グリーンベルト構想」の拠点として計画された総合公園です。丸彦渡辺建設は、世界的彫刻家イサム・ノグチが設計を手掛けた同公園内の硬式野球場を施工しました。廃棄物埋立地という立地上の特性を踏まえ、廃棄物が埋まっている層を貫通しない基礎構造の採用や地盤沈下に配慮した施工を行いました。北海道に基盤を置くグループ会社として、丸彦渡辺建設は、地域社会の発展と活性化に貢献しています。



モエレ沼公園野球場 (北海道札幌市)

		2024年度売上高 単位:百万円		
国内の主なグループ会社	建設関連	日本道路(株)グループ	道路建設および舗装工事	164,294
		(株)シミス・ビルライフケア	建物リニューアル・ビルマネジメント事業	73,624
		日本ファブテック(株)	鉄骨・橋梁製作請負	44,720
		(株)エスシー・マシーナリ	建設機械のレンタル	34,892
		(株)ミルックス	建設資機材販売・リースおよび保険代理業	31,102
		丸彦渡辺建設(株)	建設工事請負	28,542
		第一設備工業(株)	建築設備工事請負	17,579
		日本建設(株)	建設工事請負	14,927
		(株)エスシー・プレコン	プレキャストコンクリート製品の製造・販売・工事	6,133
		(株)ビーディーシステム	建築物の設計・管理	5,684
		(株)フィールドフォー・デザインオフィス	インテリアおよびランドスケープの設計・監理業務	441
		清水総合開発(株)	不動産開発事業・ビル管理事業・賃貸仲介業	34,246
		清水建設不動産投資顧問(株)	投資運用	407
開発・不動産関連	港地所(株)	不動産販売事業・不動産賃貸事業	499	
	(株)トータルオフィスパートナー	清水建設社屋の管理・広報広告・事務代行業・人材派遣事業	8,798	
サービス関連	(株)大崎総合研究所	原子力構造物の設計に必要な解析手法の研究・開発および受託・コンサルティング	522	

		2024年売上高 単位:百万円			
海外の主なグループ会社	建設関連	Shimizu North America LLC	建設工事請負(カナダ、アメリカ、メキシコ)	16,203	
		Shimizu Vietnam Co., Ltd.	建設工事請負(ベトナム)	15,141	
		Shimizu Corporation (China) Ltd.	建設工事請負(中国)	9,083	
		Thai Shimizu Co., Ltd.	建設工事請負(タイ)	9,027	
		PT Shimizu Bangun Cipta Kontraktor	建設工事請負(インドネシア)	6,300	
		Shimizu Corporation India Pvt. Ltd.	建設工事請負(インド)	6,113	
		Shimizu Philippine Contractors, Inc.	建設工事請負(フィリピン)	3,395	
		Grandwork Interior Pte Ltd	内装工事請負(東南アジア)	— ▶P.53	
		Cross Management Corp.	内装・改修工事請負(アメリカ)	— ▶P.53	
		Shimizu Realty Development (U.S.A.), Inc.	不動産開発事業・不動産投資事業(アメリカ)	4,442	
		Shimizu Investment (Asia) Pte. Ltd.	不動産開発事業・不動産投資事業(東南アジア)	104	
		エンジニアリング	Perigon International Inc.	製造施設エンジニアリングサービス(アメリカ)	845